

事業名	山梨県馬術競技場管理費		
細事業名	馬術競技場管理費補助金	財務コード	059202
担当部課室	農政 部 畜産 課 安全・衛生 担当 (内線)	5264	

事業の概要

実施期間	始期 S58 年度 ~ 終期 年度		
実施主体	補助((公財)山梨県馬事振興センター)		
事業の目的	だれ(何)を対象に 乗馬関係者及び県民	その対象をどのような状態にして 馬術指導者の養成研修、乗用馬の育成・調教・供給を行うとともに、各種大会・イベントを通じて馬と接することができる	結果、何に結びつけるのか 馬事普及奨励の推進
	山梨県馬術競技場は、かいじ国体(S61)の馬術競技用施設として建設され、その後も全国及び県レベルの大会を開催、県内外の合宿等の受入を行う、県内唯一の馬術競技場である。その施設運営を(公財)山梨県馬事振興センターが行っている。同センターが行う山梨県馬術競技場の管理運営に要する経費のうち、収支の差額に対して助成する。 <<管理運営内容>> 各種大会、イベント等の開催 22回 スポーツホースのレベルアップを図るための乗用馬調教の受託 6頭 選手強化 山梨県国体選手並びにジュニア強化選手への指導 通年 総合馬術ナショナルチーム、大学馬術部及び乗馬クラブ等の合宿の受け入れ 計46回 (一財)生物科学安全研究所の小規模委託事業の実施 北杜市内の小学校社会科学習、県内小学校遠足等の受入		
事業の内容 主にH26年度			
根拠法令等	山梨県馬術競技場管理費補助金交付要綱		

事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

事業の実施状況と 目標の実現度	25年度	26年度		27年度	28年度	事業目標の考え方
	実績値	目標値	実績値	見込値	目標値	
活動指標 大会等の開催数	19	18	22	21	21	目標設定の考え方 山梨県馬術競技場における大会等の開催数
	活動指標達成率 (実績値/目標値)	122.2 %				
成果指標 山梨県 馬事振興センター 来場者数	39,200	38,687	38,500	39,000	39,200	目標設定の考え方 前年度の大会等開催における来場者数を基に、開催予定計画から算出
	成果指標達成率 (実績値/目標値)	99.5 %				
決算額又は予算額 (千円) うち一財額	8,465		3,744	3,556	3,213	成果指標によらない成果
所要時間(直接分)	24 時間		24 時間	24 時間	24 時間	
所要時間(間接分)	13 時間		17 時間	16 時間	16 時間	
所要時間計	37 時間		41 時間	40 時間	40 時間	
人件費コスト単位:千円 (@2,048円×所要時間)	76		84	82	82	

これまでの事業の見直し・改善状況

H18年度に経営計画を策定、自主財源の確保と経費節減、事業見直しを図っている。  
H18年度から毎年5%ずつ補助金の削減を行っている。

**活動量と成果の判断(平成26年度の業績評価)**

(1) 事業は予定された活動量を上げているか (「活動指標の達成率」等から事業の活動量を判断)		
数値判定 H26年度 活動指標 の達成率	活動量に係る 一次評価	活動量に係る一次評価の考え方 数値判定と一次評価が異なる場合等に記載すること
a	a	

a: 予定を超えた活動量がある(120%以上) b: 予定どおりの活動量がある(80%以上120%未満) c: 予定したほど活動量がない(40%以上80%未満)  
d: 予定した活動量に著しく足りない(40%未満)

(2) 事業は意図した成果を上げているか (「成果指標の達成率」、「成果指標によらない成果」から事業の成果を判断)		
数値判定 H26年度 成果指標 の達成率	成果に係る 一次評価	成果に係る一次評価の考え方 必ず記載すること H25年度にJOC認定競技特別強化センターの指定を取り消され、H26年度は大きな大会(全日本ジュニア総合馬術大会、全日本ジュニア障害馬術大会)が他県施設開催に変更となり、当施設での開催は出来なかったものの、同施設では新規イベントの開催を行って、施設の有効活用に努めている。 施設の老朽化等により、大会の開催誘致をしていくことは難しい状況ではあるが、一般県民が馬に接する機会を提供できるよう、県内における馬術競技の中核として、今後も、効率的な施設の管理運営を行って行く必要がある。
b	b	

a: 意図した成果を十分に上げている(120%以上) b: 意図した成果はほぼ上げている(80%以上120%未満) c: 意図した成果は十分ではないが、対象や方法の改善により成果の向上が見込める(40%以上80%未満) d: 意図した成果が十分でなく、成果を上げる方法も見あたらない(40%未満)

**見直しの必要性(平成28年度に向けた改善等の考え方)**

一次評価(担当部局評価結果)		
見直しの必要性	説 明	以外の判断項目
無		

・「以外の判断項目」の欄  
a: 目的の達成 b: 新たな課題への対応 c: 対象の変化 d: ニーズの変化 e: 法律・制度の改正 f: 民間等実施 g: 市町村等へ移管 h: 外部委託  
i: 経費節減 j: 類似事業と統合・連携 k: 所要時間の縮減 l: プロセスの改善 m: その他

二次評価(担当部局再評価結果) 行政評価アドバイザー会議(外部評価)での指摘事項を踏まえた担当部局による再評価		
見直しの必要性	説 明	以外の判断項目

・「以外の判断項目」の欄は、上記と同様とする

**見直しの方向(平成28年度当初予算等での対応状況)**

見直しの方向	具体的な実施計画等 「見直しの必要性」と「見直しの方向」が異なる場合は、その理由も記載すること
現行どおり	

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること  
・見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること